

# 第6学年 外国語科学習指導案

令和2年 10月21日(水) 4校時

第6学年2組 計23名

男子12名 女子11名

指導者 高松 亜由美 (T1)

Ricardo Cirilo Amorea Mercado (T2)

**研究主題** 「Let's try communication more!」 ~児童が主体的に取り組む外国語教育の創造~

## 目指す児童像

様々な表現や言葉を用い、他者意識をもちながら、自分の考えや気持ちを伝え合う子ども

1 単元名 「Unit6 Let's think about our food.」 (NEW HORIZON Elementary 6 東京書籍)

2 単元の目標

(1) 知識・技能

食材を通じた世界のつながりや食べ物の栄養素などについて、聞いたり伝えたりすることができる。  
例文を参考に、文を読んだり、書いたりすることができる。

(2) 思考・判断・表現

世界と日本との関係を知るために、食材を通じた世界のつながりや食べ物の栄養素などについて、短い話を聞いてその概要が分かったり、伝え合ったり、話したりすることができる。

(3) 主体的に学習に取り組む態度

他者意識をもちながら、お互いの考えや気持ちなどを伝え合おうとすることができる。外国語の背景にある文化に対する理解を深めることができる。

3 評価規準

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価規準	・食べものやそれらの産地についてのやり取りを聞いて、内容を理解している。 ・食材を通じて世界のつながりを考え、給食献立を発表している。	・食べものやそれらの産地について、たずねたり答えたりしている。 ・食材を通じて世界のつながりを考え、簡単な語句や基本的な表現を用いて給食献立を伝え合っている。	・世界と日本との関係を知るために食べものやそれらの産地、外国の国について、内容を捉えようとしている。 ・簡単な語句や基本的な表現を読んだり、話したり、書いたりしようとしている。

4 単元について

本単元では、世界と日本との関係を知るために、食材を通じた世界のつながりに気付かせるとともに食べ物の栄養素について知ることができる。また、日頃食べる食材について、その産地や栄養素を英語で伝え合うことで、社会科や家庭科で学習した知識を活用し、探求することができる。社会科「農業」「水産業」「外国からの食品輸入」で学習した内容を、外国語科という見方・考え方を通してより深く理解させ、児童が自ら探求できるように促したい。更に単元最後の言語活動に「今日の献立」を英語で発表する場を設定した。下級生にも内容を理解することができるようなやり取りを自分たちで考えることで、目的意識を持ち児童同士が進んで伝え合う力を育てたい。

## 5 主な表現・語彙

### 【表現】

A : What did you eat for ~?	B : I ate ~.
A : Do you usually eat~?	B : I usually eat~.
A : Where is/are/was/were ~ from?	B : ~ is/are/was/were ….
A : What color group is/are ~ in?	B : ~ is in …group.
A : How much is it?	B : It's (400)yen.

【語彙】 [foods] :rice, rice ball, curry and rice, grilled fish, bread, sandwich, pancakes, pizza, hamburger, hot dog, French fries, fried chicken, sausage, steak, omelet, spaghetti, pie, salad, soup

[meals] : breakfast, lunch, dinner

[fruit] :apple, banana, bean, broccoli, cabbage, carrot, cherry, corn, cucumber, eggplant, grapes, green pepper, kiwi fruit, lemon, lettuce, melon, mushroom, nut, onion, orange, peach, pineapple, potato, spinach, strawberry, tomato, watermelon

[ingredients]:beef, chicken, pork, bacon, ham, cheese, egg, fish, salmon, octopus

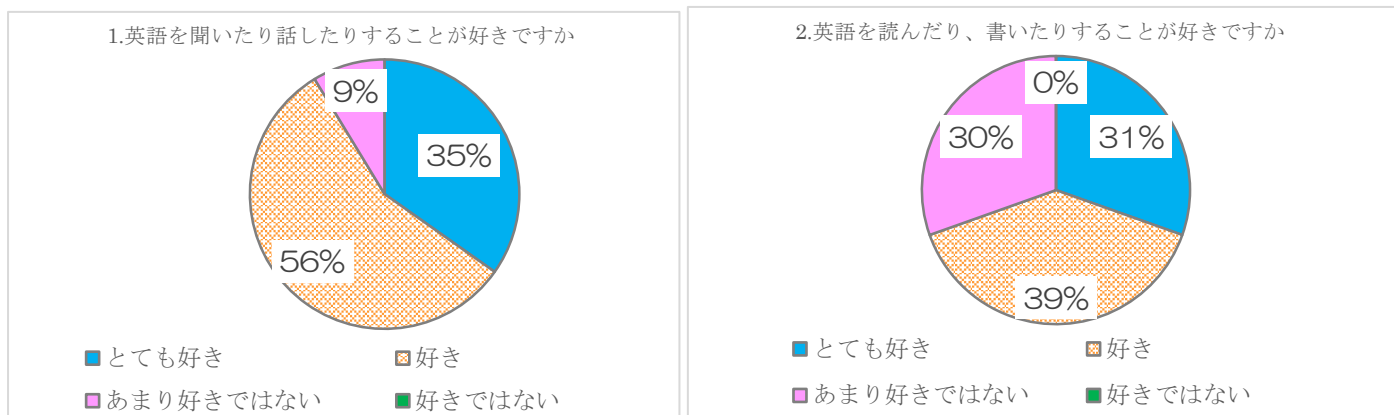
## 6 児童の実態

### (1) 教師から見た実態

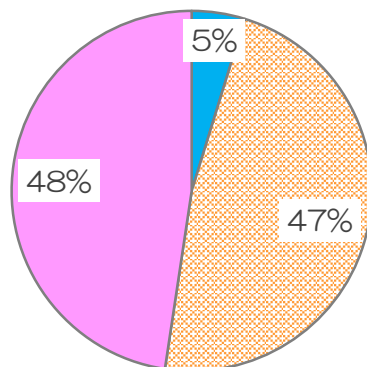
本学級の児童は、3, 4年生で10時間ずつ、5年生で70時間と英語の学習を積み重ねてきた。その成果として、基礎的・基本的な英語の語彙や表現であれば聞いたり話したりできるとともに、担任やALT・友達と積極的に英語でのやり取りをしようとする態度が身に付いている。しかし、本当に自分の伝えたいことを伝えたい場面に直面した時に、既得の知識や経験を言語活動で活用する能力は低いと考えられる。したがって、目的や場面、状況等必然性のある活動を通して、自分の考えや気持ちを英語で伝え合う場面を設定していく。苦手意識をもつ児童においては、基本的な英語表現に繰り返し慣れ親しむとともに、意図的に言葉を交わせる機会を設定している。

### (2) 児童の実態調査結果及び考察

以下が、7月上旬に行った外国語に関する実態調査の結果である。

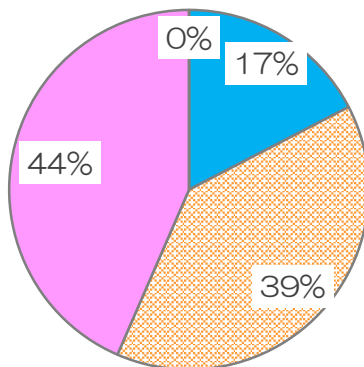


4.先生やALTの先生が英語で話していることが分かりますか



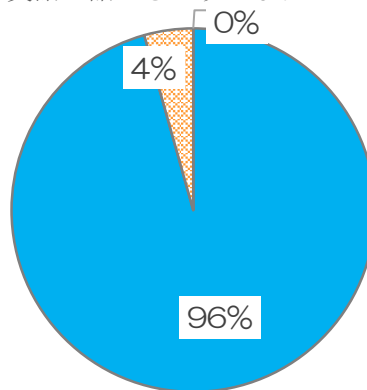
■とても分かる ■分かる ■あまり分からない

6.授業中、友達や先生と英語を使って話すことができますか



■よくできる ■できる ■あまりできない ■全くできない

5.英語が話せるようになりたいですか



■なりたい ■あまりなりたくない ■なりたくない

この結果と日々の児童の姿を重ね合わせ、次のように考察した。

英語を『聞いたり・話したりすること』が「好き・まあまあ好き」と答えた児童は91%で昨年度より15%上昇した。一方で、『読んだり書いたりすること』が「あまり好きではない」と答えた児童は、全体の30%を占めた。読むこと・書くことへの抵抗感が高まっていることがわかる。『担任やALTが英語で話していることがわかる』という問いに対して、「あまり分からない・まったく分からない」、『授業中、友達や先生と英語を使って話すことができる』という問いに対して「あまりできない」と答えた児童は、ともに11%ずつ上昇した。学年が上がったことで、英語に対して自信がなくなったり、苦手意識をもつようになってくる児童が増えてきている。一方で、ほとんどの児童が『英語を話せるようになりたい』と回答した。教科化として5領域4技能を身に付けつつ、「英語が話せるようになりたい・将来に生かしたい」という思いを実現させるために授業の改善・工夫を行っていきたい。

## 7 研究主題に迫るための指導の工夫

### ○「児童が主体的に取り組む」ための手立て

#### (1) 様々な表現や言葉を使う

##### ・外国語に慣れ親しむための導入の工夫

その日のリーダーによる英語での挨拶から授業が始まるとともに、その後は、「歌」「文字と音」を繰り返し設定した。毎時間繰り返すことで、児童の学習に対する緊張感を和らぐことができるようにした。

##### ・言葉や表現の掲示の工夫

やりとりの例示は、イラストに単語を添えたカードやいろいろな尋ね方を掲示した。掲示したカードを頼りに、それまでに音声で聞いて十分に慣れ親しんだことを思い起こしながらやりとりができるようにした。

#### (2) 他者意識をもたせる

##### ・Small Talk の工夫

英語の音声や表現に慣れ親しめるよう単元で使用する表現を用いて、週 1 回 Small Talk を行った。その際、児童同士が 1 分間会話をし続けることができるようモデルを示すようにした。

##### ・相手への応答の仕方を例示

やりとりを通して、相手が話したことを繰り返したり、応答したり、質問したりすることで、会話を繋げたり広げたりできるよう、応答の仕方を例示し、意識付けした。また、T2としてALTが授業に入る際は、応答することで相手の思いや考えを受け止めている「応答のよさ」を実感できるようにした。

#### (3) 自分の考えや気持ちを伝え合う

##### ・必然性のある場面設定

自分の考えを伝え合う必然性が生まれるように、おすすめの給食の献立を実際に発表する場を設定した。自分の考えを友達に伝えたい活動、グループの考えを他のグループに伝えたい活動にすることで意欲を高めた。

## 8 指導計画と評価計画（全8時間）

時	○目標 ・学習活動	◎支援 ★評価【観点】(方法)
1 2	○食べものやそれらの産地についてのやり取りのおおよその内容を理解する。 ・食べ物の単語を確認する。 ・登場人物が食べたものを聞き取る。 ・自分が昨日食べたものについて、話したり、書いたりする。 ・食べ物と食材の産地について話したり、書いたりする。	◎食材や国の名前から推測できるよう、英語で確認してから聞き取らせる。 ◎聞こえてくる食べ物や食材について、絵カードを使って音声を聞き、理解できるようにする。 ★世界と日本との関係を知るために、食べものやそれらの産地について、内容を捉えようとしている。【主】(教科書・行動観察・振り返りカード) ★食べものやそれらの産地についてのやり取りを聞いて、内容を理解している。【知・技】(教科書・行動観察・振り返りカード)
3 4 5 (本時)	○わたしたちの食生活について伝え合う。 ・自分の好きな給食について話したり、聞いたりする。 ・食べ物がどの栄養素のグループに入るのか、話したり、聞いたりする。	◎より身近なもので考えることができるよう約2週間以内に食べた給食献立から好きな給食を考える。 ★簡単な語句や基本的な表現を話そうとしている。【主】(行動観察・献立メモ・振り返りカード)

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 9～10月の献立の中から、「おすすめ献立メモ」を作る。</li> <li>・ 自分の「おすすめ献立」をグループの人に伝える。</li> </ul>	<p>◎紹介したおすすめ献立を考え、伝える食材を決めさせる。</p> <p>★食べものやそれらの産地について、たずねたり答えたりしている。【思・判・表】 (行動観察・献立メモ・振り返りカード)</p> <p>※「読むこと」「書くこと」の評価は、単元にとらわれず、継続的に見取っていく。</p>
6 7	<p>○「11月の献立表」をもとにおすすめ献立を発表する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ グループで「おすすめ献立」を決める。</li> <li>・ グループで「おすすめ献立メモ」を考えて発表する。(日替わりで給食の時間に実施)</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>やり取り例 (4人班 Ver.)</p> <p>A&amp;B: Hello, everyone. I'm (A and B).</p> <p>A: What did you ate lunch yesterday?</p> <p>B: I ate ( ). It was great.</p> <p>A: What kind of lunch do you like?</p> <p>B: I like ( ). How about you?</p> <p>A: I like ( ).</p> <p>C: Hello, everyone. I'm (C and D).</p> <p>Today's lunch is ( )</p> <p>D: ( ) is from ( ).</p> <p>C: ( ) is in the ( ) group.</p> <p>D: Do you like ( )?</p> <p>C: ( ).</p> <p>C&amp;D: Have a good lunch time. Bye-Bye</p> </div>	<p>◎「昨日の給食で食べた物」「普段食べている好きな食べ物」「食材の産地」「食材の属するグループ」の4つは必ず入れるようにする。</p> <p>◎モデル文のように既習表現を1つ以上入れるようにする。</p> <p>★食材を通じて世界のつながりを考え、簡単な語句や基本的な表現を用いて給食献立を伝え合っている。【思・判・表】 (行動観察・献立メモ・振り返りカード)</p> <p>★食材を通じて世界のつながりを考え、給食献立を発表している。【知・技】(行動観察・振り返りカード) <b>※11月各班発表時でも評価する。</b></p>
8	<p>○外国から来る食べ物などについて考え、世界と日本の文化について学ぶ。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 日本と世界の食材事情について考える。</li> <li>・ 漢字熟語と英語について知る。</li> <li>・ スイスについて知る。</li> </ul>	<p>◎社会科「農業・水産業における食料生産」や「外国からの輸入食材」の既習内容を活用させる。</p> <p>★世界と日本との関係を知るために外国の国について、内容を捉えようとしている。【主】 (教科書・行動観察・振り返りカード)</p>

9 本時の展開 (5 / 8)

(1) 本時の目標

おすすめの給食献立 (食べ物や産地) について尋ねたり、答えたりすることができる。

(2) 展開

過程	学習活動	◇T1 の活動 ◆T2 の活動	◎指導上の留意点★評価規準	準備物
導入 8分	1、 <b>Greeting</b> ♪Sing ♪What did you eat? 2、 <b>Warm up</b> ・Listen and Write (文字と音)	◇◆挨拶をし、児童と一緒に歌う。 ◆単語を発音する。 ◇文字指導をする。	◎英語の歌に合わせて体を動かすことで、明るく楽しい雰囲気作りをする。 ◎フォニックス学習を通して母音に親しみ、慣れ親しんだ単語を聞き取り、書く・読むができるようにする。	CD PC 絵カード
展開	3、本時の学習内容を確認する。	◇めあてを提示する。		
	<b>Today's goal    おすすめの給食献立について尋ねたり、答えたりしよう。</b>			
5分	4、 <b>Small Talk</b> をする。 ～What did you eat last night?～	◇◆モデル会話をする。	◎1 分間会話が長くよう既習表現を意識させる。	ヒント カード
10分	5、 <b>Activity①</b> 「献立メモ」をもとに自分のおすすめの献立を伝え合う。	◆ICT 機器や掲示物を活用して確認する。 ◆◇机間指導を行う。	◎「献立」「産地」「栄養素」の質問を確認させる。 ◎やりとりする際、相手に尋ねる質問が明確になるようにする。 ◎尋ねたり、答えたりしたことが確認できるよう献立にチェックさせる。	栄養素 カード PC
15分	6、 <b>Activity②</b> <b>Activity①</b> 以外の献立から「おすすめの献立」について尋ねたり、答えたりする。		◎掲示物を外し、語句だけになったとしても自分の力で伝えようとする意識をもたせる。 ★食べものやそれらの産地について、たずねたり答えたりしている。【思・判・表】 (行動観察・献立表・振り返りカード)	
終末 7分	7、振り返りカードを書く。 ・自己評価をする。・感想を聞く。 8、 <b>Goodbye Song</b> ・英語の歌に合わせて体を動かす。	◇発表者を指名する。 ◇◆児童と英語で挨拶する。	◎学習を振り返り、学習の成果についての児童の気付きを促すようにする。	振り返り カード

(3) 本時の視点

・グループでおすすめの献立を伝え合う活動は、児童の主体的な活動を促す上で有効であったか。

Unit6 Let's think about our food. 10/21 **Today's goal** おすすめの給食献立について尋ねたり、答えたりしよう。

**Greeting** **Warm up**

dot pot

**Small Talk** Smile Eye contact Reaction

Small Talk ～会話を広げよう～

栄養素

4人でのやりとり絵カード

**Today's point**  
A : What color group is/are ~ in?  
B : ~ is in ...group.

PC (プレゼンテーションソフト)

A : What kind of lunch do you like ?  
B : I like ~. It was ~.  
A : Where is/are/was/were ~ from?  
B : ~ is/are/was/were ...  
A : What color group is/are ~ in?  
B : ~ is in ...group.